ガーナ：
アフリカの玄関口

プレゼンテーションの要旨

- ガーナに関するバックグラウンド
- ジェンダー・子どもおよび社会保護省（MoGCSP）の概要
- ガーナにおけるジェンダーの状況：
  - 少女／女性の妨げとなる社会文化的な慣習
  - 少女／女性の教育
  - 経済力
  - 女性と健康
  - 政治的エンパワメント／キーとなる意思決定者
- GM達成に向けた進展
- GM促進に向けた戦略
- 課題

ガーナに関するバックグラウンド

はじめに

ガーナは
南大西洋に面し、
コートジボワールの東、
トーゴの西、
ブルキナファソの
南に位置する

ガーナのヴォルタ湖は
世界最大の
人造湖であり、
表面積は8,482 sqkm

人口およそ25百万人

概要

- 同省はE.I1により2013年に設立。ジェンダー平等の確保、福祉および子どもの保護の促進、および社会における弱者へのエンパワメントを責務とする。
- MoGCSPは、MOWAC、社会福祉部、NCPD、雇用および社会福祉省の社会保護部の合併により設立された。

部／ユニット／局

現在、同省を構成する部、局、ユニットは以下の通り。

- ジェンダー部
- 子ども部
- 社会開発部
- ドメスティック・バイオレンス局
- 人身売買局
- 障がい者国家会議

ミッション

MOGCSPは、ジェンダー平等ならびに平等を達成することにより国家の発展に貢献し、子どもの権利の行使を促進し、十分なリソースを駆使したしかるべき政策ならびに戦略によって、弱者、阻害される者、障がい者を発展のプロセスに組み込み、保護することを目的とする。

私たちのビジョン

男性と女性、子ども、弱者、障がい者の
存続と発展が保障される調和のとれた社会

私たちが対象とするグループ

子ども

貧困線より下

障がい者

男性

女性

若者

高齢者

ガーナにおけるジェンダーの状況に関するバックグラウンド

- ガーナでは、貧困レベルや男女間の社会的不公正の解消や健康基準の改善に向けた戦略として、ジェンダー平等および女性のエンパワメントに取り組んできた。
- ガーナ第四共和制の1992年の憲法では、第5章において、基本的人権と自由がうたわれており、これは国際的な人権に関するフレームワークに合致するものである。

ガーナにおけるジェンダーの状況

- 全ての人々に与えられる権利に加え、第22項および27項では、特に女性の権利を対象としている。
- これらの取り組みにもかかわらず、平等や公平な機会の達成という状況から、女性はいまだはるかに遠いところにいる。
- ガーナにおける基本的なジェンダーの問題は、以下が原因と考えられる。

✓ ***一般的な社会文化的な慣習***

✓ ***女性を劣った存在として見下す***

ガーナにおける社会文化的な慣習

- 女性は男性に服従すべき存在である。
- 一部の重要な問題に関しては、女性は自らの意見を述べることが許されず、よって、自らの意見を示す時は男性を介さなければならない。
- 少女は妻になる教育を受けるのであって、キャリア・ウーマンになる教育は受けない。

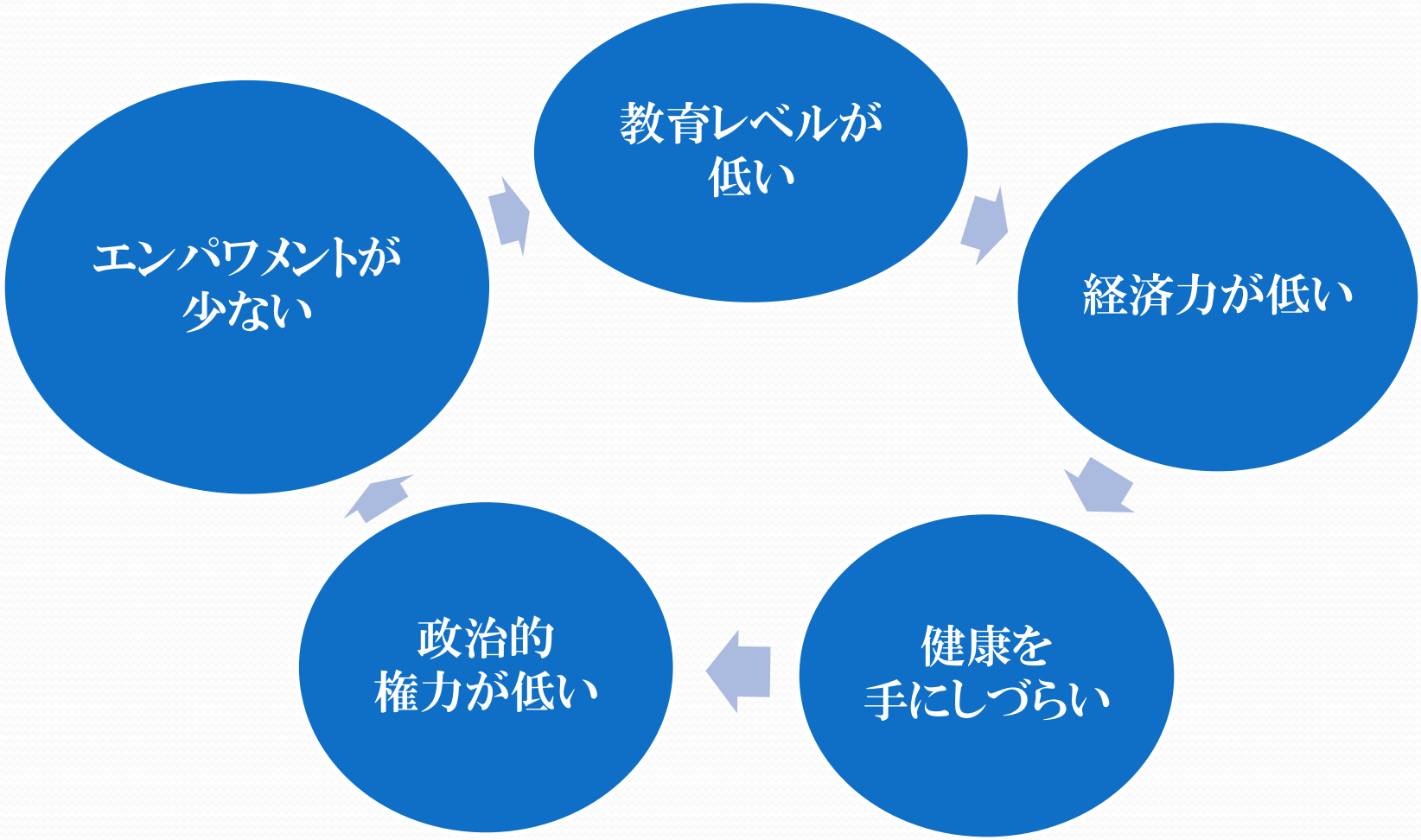
女性に対する影響

- 全てのレベルにおいて、権限の共有と意思決定の参画の面で男女間の不平等が生じている。
- 主流からはずれた弱い立場の人々並びに貧困層が社会保護を受ける上で不平等が生じている。
- 過度の貧困、教育やスキルを身に付けるための訓練における格差、高い母性死亡率といった負担の面で不平等が生じている。
- 社会経済的な権力や公正の面で不平等が生じ、女性の人権の保護および促進が不十分である。

結果：

- こうした習慣がもたらす全体的な影響の結果、ジェンダーに関する主要な問題が生じ、教育、経済力、政治的エンパワメント、健康などに繰り返し生じる影響をガーナの女性が考える際に影響を及ぼしている。

繰り返し生じる影響



1. 少女／女性の教育

ガーナでは：

- 学校教育に関しては、少年も少女も権利は平等であり、入学条件も同じである。
- 社会文化的な責任が少女に重くのしかかり、学校の「退学者」の割合は少年より少女の方がはるかに高くなる。
- 経済的に厳しい家庭では、少年を教育するために、少女の教育を犠牲にする。.

現在の傾向

WAECの卒業生	2015		
	男性	女性	（約）%
BECE	229,724	208,306	50
高等教育	139,843	128,928	50

- 現在のガーナ大学の生徒数
- 合計－42,000名（男子学生対女子学生の割合は3:2すなわち60%:40%である）
- 男子学生－25,200名、女子学生－16,800名(2014)、年齢が上がるにつれ、格差が広がる

- しかしながら、教育マネジメント情報システム（EMIS、教育省）の最近の調査によると、教育を受ける女性の数は増加している。

2.女性の経済力

- 女性の経済力は一般的に低く、その結果、小商いに従事する者が多い。
- 資本が不十分であるため、購買力が低い。
- 金利が非常に高い銀行や金貸しからのローンやクレジットに依存している。
- 例えば、銀行の現在のローンの金利は、30％から31％である。(2015)
- 慣習法により、ガーナには土地保有制度があるため、土地を保有しずらい。

結果、ガーナの女性の経済力が低くなっている。

地方に暮らす女性の経済活動

小商い

陶器

- 女性の過酷な労働がガーナの経済システムの中軸を担ってきた。
- 圧倒的多数が失業および貧困に苦しむ。

女性の経済活動

農産物をマーケットまで運ぶ

小規模炭坑業

小規模炭坑業に従事する子どもたち

地方の女性の経済活動：漁業

3. 女性と健康

- 全てのガーナ人は医療施設を利用できる状況にあり、これは、最寄りの医療機関、特に応急処置をする地域のヘルスセンターまで、その距離を8キロと定めるWHOの基準に合致する。

- ガーナ政府が国家健康保険制度を導入

しかしながら、

- 女性のほうが、質の高い医療施設で受診することが難しい状況にある。
- 例えば、女性の多くは、特に、「正式な教育を受けていない」、「賃金が低い」、といった女性は、出産する子どもの数や、健康や栄養にいくら支払うかといったことを最終的に決定する上で、エンパワメントがなされていない。

政治的エンパワメント

現在、ガーナ議会の構成は以下の通り。

- 合計：275名
- 245名：男性
- 30名:女性

女性の割合：10.9% (MoGCSP)

- 大臣の29％および副大臣の22％(国家ジェンダー政策、2015)

一般的に、主要な意思決定のプロセスに女性が参画する機会は少なく、このことはジェンダー平等および女性のエンパワメントの達成を阻害する大きな要因となっている。

GM達成に向けた進展

- 例えば、伝統的なコミュニティの統治を見てみると、以前は男性が務めるチーフ(族長)の特権であった意思決定のプロセスに、女性のクイーン・マザー(女性リーダー)が参加するようになった。(国家ジェンダー政策、2015)
- 2015年の8月に内閣が国家ジェンダー政策を採択した。
- アファーマティブ・アクション法案も、まもなく内閣で検討の上、制定される予定。
- 配偶者の無遺言相続および 財産の権利に関する法案が策定され、議会で検討される予定。

2014年5月から6月までのJICAの研修プログラムで得た知識により、ジェンダー主流化を進める上で、私が用いた戦略

主要関係者(大臣およびチーフ・ディレクター)と対話をはかり、
得た知識を共有し、どのようにGMを推進できるかを話し合う。

スタッフ(新規採用のスタッフ)のレベルに関する情報を収集し、
GMに関する理解のレベルを把握する。

2014年10月に同省内から選抜された12名のスタッフに対し、
GMに関する1日から2日の研修プログラムを、
私自身のリソース（技術および財政の両面）で開催する。

2014年の10月から12月に実施された、首長および伝統省による
「悪しき習慣を撲滅するためのデータ収集」のアンケートに、
ジェンダー主流化を図る中心人物として携わる。

続き

2014年6月の「北京+20」のカントリー・レポートの草案委員会のメンバーに任命される。

「職工および小規模鉱業における女性」に関するアンケートの見直し、また、そうした女性に関する研究や「職工および小規模鉱業における女性のためのジェンダー主流化」をどのように進めるべきかに関する研究をサポートするスタッフに任命される。

自分たちのセクターの活動においてジェンダー主流化をどのように効果的に進め、ジェンダー問題に対応した予算をどのように効果的に編成するのか、チーフ・ディレクターを対象としたワークショップにおいて、ファシリテーターを務める。

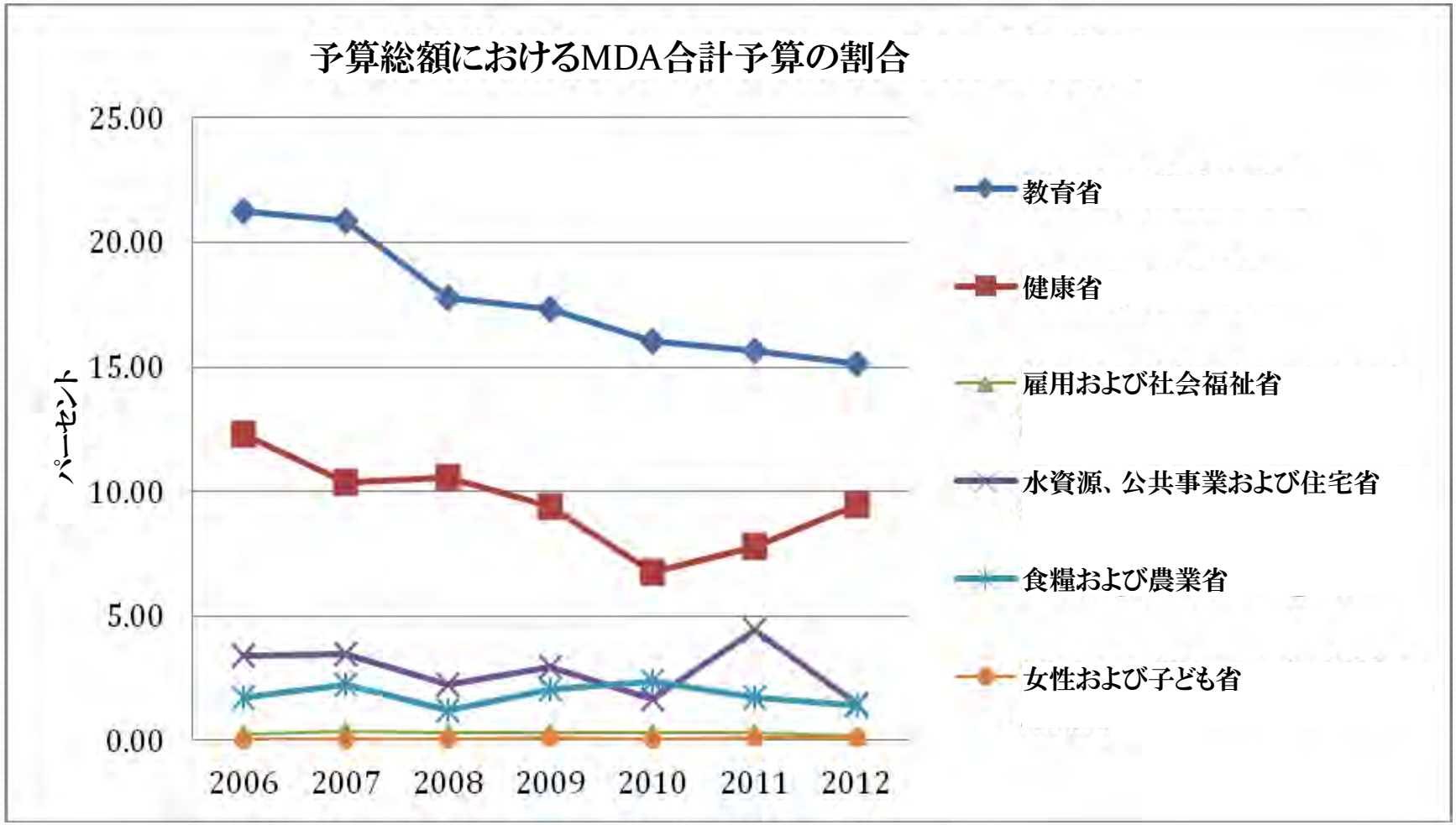
現在、各省庁および部局の計画立案部門におけるジェンダー担当スタッフおよび行政官を対象とした、ジェンダー主流化の研修プログラムにて、ファシリテーターを務めている。年末までの予定。

MoGCSPのスタッフを対象としたGM研修にてファシリテーターを務める

課題

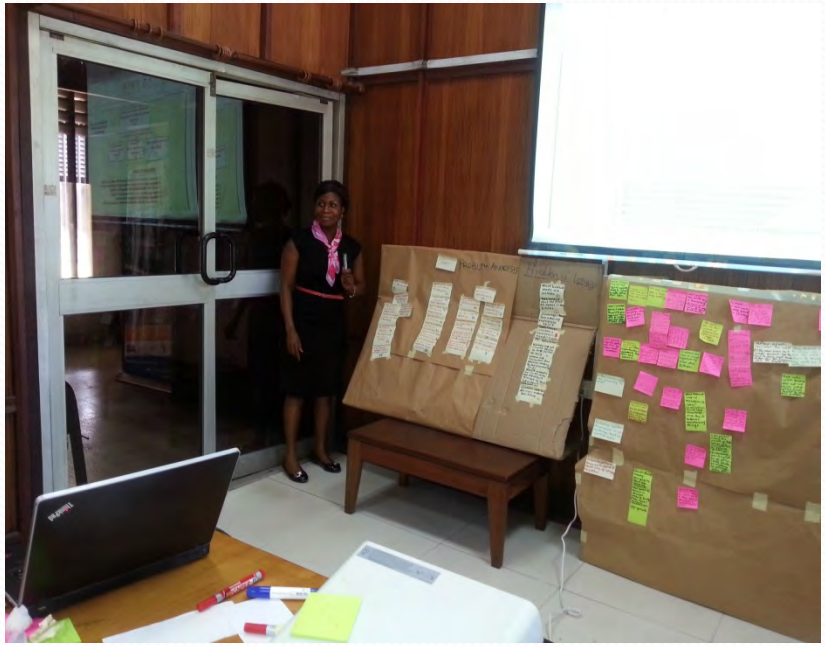
- ジェンダー平等は女性問題であると未だに広く考えられている。
- 悪口を恐れたり、ステレオタイプに縛られて、若い女性がリーダーの役割を務めたがらない。
- 財源が不足している。また、ジェンダー問題に対するリーダーの取り組みが不十分である。

不十分な予算配分 (2011－13)



地方に暮らす弱者に対する支援

OTHER
GROUND
RULE



ドウモ・アリガトウ・ゴザイマス